

## 気密性能について

### ■気密性能とは

サッシのすき間から漏れる空気の量を示す値で、サッシ1㎡における1時間当たりの通気量を、JISで定義する等級で表します。A-1、A-2、A-3、A-4の順に気密性能が高くなります。

窓(サッシ)から出入りする空気の量が少ないほうが良いということになります。夏や冬の外気と屋内の温度差が大きい場合、気密性能が良くないと内外の空気の出入りによって冷房や暖房の効率が悪くなることとなります。



一般サッシはA-3、断熱サッシはA-4等級の性能が必要とされます。

例えば、風速4m/sの風が正面から当たっている時に、サッシ1㎡あたりA-3等級では1時間に8m<sup>3</sup>以下、A-4等級では1時間に2m<sup>3</sup>以下の空気が入り出す性能ということです。

※風速4m/sとは、木の葉や小枝などが動き続けるほどの風の強さです。

### ■必要等級の目安【JISグレード(JIS A4706、A4702)】

等級	A-1	A-2	A-3	A-4
用途	通気性を必要とする特殊部位			
		一般建築用		
			防音・断熱・防塵建築用	